# 13［評論］『なぜ、人間は蛇が嫌いか』

　実はヒトの顔を形成している造作のなかで、ほどａ如実にその人の内部状態を、微細に映し出す要素はほかに存在しないのだ。よく「まなじりを上げる」とか、「①まなじりを決して」という表現を耳にすることがある。眉の動きをさまざまに変化させる動きは、まさにこの「まなじり」の動きに対応して生ずる。緊張すると、まなじりはピンと外側へとつり上げられる。にやけると、反対に下がる。つまりの運動は、額の左右の両端から側頭へ水平方向に分布する一対の筋肉の帯によって支配されている。ｂカイボウ学的には、前頭筋と命名されている、この筋肉によって眉もまた上下する。

　前頭筋はヒトばかりではなく、広く動物全般にわたって見られる、系統的に起源の古い筋肉として知られている。われわれには、イヌの②それがもっともなじみが深いのではないだろうか。イヌが闘いに臨むときの動作を観察してみよう。伏せに近い、低い姿勢をとっているに違いない。そればかりではない。頭は前方をきっと見据え、二つの耳が後方へそり上がっているのに気づくはずである。いわば耳を引っぱり上げる役割をするのが、前頭筋なのだ。

　前頭筋は耳から、こめかみのあたりをへて、まなじりにつながっている。イヌと異なり、ヒトはもはや耳を大規模に動かすことは、できなくなってしまった。それでもなお、③筋肉はかつてと同じく作動する。その結果、眉がつり上がり、目が「かっ」と見開かれることになる。④緊張事態のもとで、まなじりが上がるのはきわめて適応的な反応といえるだろう。およそ緊張が高まる状況とは、自分にとって有害な何者かが出現したことを示す場面にほかならない。何者かとは、同種の敵あるいは、捕食者を指すことが大多数だろう。危険に対応するには、何はともあれ事態を文字どおり「見きわめ」る必要がある。よく目を開いて、外界のありさまを把握しなくてはならないのだ。

　アメリカのある心理学者は最近、アメリカ大リーグに所属する野球選手について、バッターボックスに立った際に、ピッチャーがボールを投げた瞬間以降、どれだけまばたきをしたかを測定した。ｃ広汎な選手について調査を行なったのちに、個々人について打率と、まばたきの平均回数を比較してみると、きれいな逆相関関係が見られたという。つまり、［　　　　　Ａ　　　　　］。まばたきなど、ほんの一瞬のことにすぎないと思いがちであるけれども、その間、確実に視覚入力はｄシャダンされるのだ。われわれの得る外界についての情報量は、おびただしく減少するらしい。まなじりを開くことの重要性をｅシサする一例と、いえるだろう。

　［　　Ｂ　　］、⑤濃い眉は、まなじりの運動を周囲に宣伝する、「よい指標」として機能しているのだ。

　瞼の状態に比べて濃い眉は、はるか遠方からでも動きを読みとることが容易である。ライバルや獲物のを突こうと待ち構える者には、格好の指標になるはずだ。油断して眉が下がっているときをい、眉がつり上がっているときは、やめておいたほうがよいということになる。

●語注

如実＝現実のまま。

捕食者＝他の生物をえさとして捕らえ食べる生物。

◆漢字　本文中の二重傍線部ａ〜ｅのカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで記せ。ａ〔　　　　　〕　ｂ〔　　　　　〕　ｃ〔　　　　　〕　ｄ〔　　　　　〕　ｅ〔　　　　　〕

問１　傍線部①の語句の意味として最も適当なものを次から選べ。5点

ア　目を素早く動かし、油断なく注意すること。

イ　目をしっかり閉じて、強く決心すること。

ウ　目をあわせないように、自分の気持ちを隠すこと。

エ　目をつり上げて、相手を威嚇すること。

オ　目をかっと大きく見開いて、しっかり見ること。

〔　　　〕

問２　傍線部②「それ」が指している語句を本文中から抜き出せ。7点

〔　　　　　　　　　　〕

問３　傍線部③とあるが、「筋肉」はどのように働くというのか。本文中から一〇字以内で抜き出せ。7点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問４　傍線部④のようにいえる理由を、次の文末表現に合うように本文中の表現を用いて三〇字以内で答えよ。10点

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

しなくてはならないから。

問５　空欄Ａに入る最も適当な一節を次から選べ。7点

ア　まばたきの頻度が変化しても、打率は一定になる。

イ　まばたきの頻度が一定でも、打率は変動する。

ウ　まばたきの頻度が変化すると、打率も変動する。

エ　まばたきの頻度が高い打者ほど、打率は低くなる。

オ　まばたきの頻度が高い打者ほど、打率は高くなる。

〔　　　〕

問６　空欄Ｂに入る最も適当な語句を次から選べ。7点

ア　むしろ　　イ　しかし　　ウ　そして　　エ　すると　　オ　または

〔　　　〕

問７　傍線部⑤の意味として最も適当なものを次から選べ。7点

ア　濃い眉は目立つので、その動きによって、人の内部状態をより遠くの人に読みとられてしまうということ。

イ　濃い眉の方が薄い眉に比べて、まなじりの運動と連動する眉の動きがよりダイナミックだということ。

ウ　濃い眉は遠くから見る者にも強い印象を与え、周囲に対してより警戒心を与えることができるということ。

エ　濃い眉の持ち主は、油断していることを周囲にさとられやすいから、いつも眉を上げていなければならないということ。

オ　濃い眉の運動はまなじりの動きと連動しており、それを周囲に読みとらせることにはさまざまなメリットがあるということ。

〔　　　〕

【解答】

漢字　ａにょじつ　ｂ解剖　ｃこうはん　ｄ遮断　ｅ示唆

問１　オ

問２　前頭筋

問３　耳を引っぱり上げる（９字）

問４　緊張を強いる危険に対応するには、よく目を見開いて外界を把握（しなくてはならないから）（29字）

　　（傍線部の内容がなければ、それぞれ6点減点）

問５　エ

問６　ウ

問７　ア

■覚えておきたい語句

□1　造作……………………つくり。

□2　まなじりを決す………目を見開く。怒ったり、決意したりするさま。

□7　系統的…………………順序立てた統一のあるさま。

□20　広汎……………………及ぶ範囲の広いこと。

□21　相関関係………………二つの物事が密接にかかわり合い、一方が他方と離れては意味をなさないようなものの間の関係。

□24　示唆……………………それとなく気づかせること。

□27　格好……………………ちょうどよいさま。

〔要　約〕

［2］段落…前頭筋の説明（［1］段落に包含される）

［4］段落…［3］段落を補足する例示。

［6］段落…［5］段落の詳しい説明・理由。

［2］、［4］、［6］段落は、省略可能。

　よって、［1］、［3］、［5］段落が柱となり、これら三つの段落を中心につなぎ合わせて要約する。

　　　　↓

眉は人の内部を映し出す。前頭筋が作動した結果、眉がつり上がり、目が見開かれるのは、緊急事態への適応的な反応である。瞼より動きを読みとりやすい眉は、まなじりの運動を宣伝する指標となる。（91字）

〈筆者＆出典〉正高信男（まさたか・のぶお）一九五四年（昭和29）大阪府生まれ。霊長類学・発達心理学者。京都大学霊長類研究所教授。人を含む霊長類のコミュニケーションの研究で有名。著書に、『ケータイを持ったサル』などがある。

本文は、『なぜ、人間は蛇が嫌いか―入門・人間行動学』（光文社、一九九四年）より。

【読みのセオリー】

★辞書的な語意を優先

　問題は文脈よりも辞書的意味を優先すること。傍線部の語句の意味を選択肢で問われる場合、第一には辞書にあるような意味に合致することが必要である。その上で、第二には、本文の文脈上の整合性で適する意味を選ぶこと。文脈上あてはまりそうな選択肢でも、言葉本来の意味やニュアンスと重ならない選択肢は除外する。

■読みのセオリー［実践］辞書的な語意を優先

問１　「まなじり」の意味を考えよう。

　「まなじり」は、「目尻」のことである。

　傍線部①「まなじりを決して」は、

［１　　　　］「まで裂けるほど目を見開くこと」の意。

　そこまで大きく目を開くからには、心中には

［２　　　　］や［３　　　　］などの強い感情がある。

〔解答〕　１目尻　２怒り　３決意（２・３は順不同。「憤り」「気合い」なども○。）

☆「セオラム補充問題」　問題は、次の３種類があります。

　　＊差し替え　　　……該当の問と差し替えるもの

　　＊追加　　　　　……同じ問で、追加された問題

　　＊新問　　　　　……追加可能な新たな問題

＊差し替え

問２　傍線部②「それ」が指示する最も適切な語句を、次から選べ。

　　ア、眉　　イ、瞼　　ウ、前頭筋　　エ、哺乳動物　　オ、起源

　［答］ウ

＊新問

問８　15行目「自分にとって有害な何者か」とは、具体的にはどのようなものか。相当するものを二つ、本文中から抜き出して答えよ。

　［答］　同種の敵・捕食者